

キセルガイの養殖技術の検討 ―餌の種類と繁殖―

福島県蚕業試験場栽桑部・平成10年度福島県蚕業試験場年報

1 部門名 蚕糸―その他―資源利用

分類コード 09-99-65000000

2 要 旨

桑園等に自然生息しているヒカリギセルガイは、従来から肝臓病に利くといわれており、現在は健康食品としての需要が増加している。このため、農家におけるヒカリギセルガイの採取が副収入の一つになっているが、最近その発生量が激減しており、その原因は、餌源の一つとなる桑廃条が桑園に入りにくくなっているためと思われるので、生育と繁殖に最も適した餌源について検討した。

供試した餌源は、古条、廃条、稲わらに鶏卵殻粉末を加えた区を設け1998年5月に成貝を放貝し10月に、成貝、幼貝別に調査した。

その結果、5月以降まもなく交尾し産卵するものがみられ、幼貝も多く観察されたが、一方、試験期間中に死貝もみられた。古条、廃条、稲わらの単独区の成貝生存割合は45～73%と低く、幼貝を含めた割合は120～148%であった。古条＋稲わら、廃条＋稲わら混合区の成貝生存割合は58～68%と単独区と大差なく、幼貝を含めた割合では168～240%と単独区よりやや高かった。混合区に鶏卵殻粉末を添加した区の生存割合は118～203%と高く、幼貝を含めた割合も373～530%と高く、ヒカリギセルの繁殖には効果的であった。